

## 2021（令和3）年度事業報告

### 1. 教育交流・派遣事業

2021年度は、「新たな教育交流プロジェクト」実施地の決定を、中国側の重要なパートナーである中国宋慶齡基金会との協議の中で行い、河北省保定市阜平县を「新たな教育交流プロジェクト」実施地として決定し、新5か年計画をスタートさせました。実施地の決定について、今までは、中国宋慶齡基金会と連絡を取り合い、いくつかの候補地をあげてもらいながら検討を進め、年度初め早々に役員による事務局レベルの派遣を行い、新5か年計画の予備調査・事前協議を行っていました。また、その後に視察研修訪中団を候補地に派遣し、当財団と中国宋慶齡基金会そして現地の教育局との協議の中で、「新たな教育交流プロジェクト」としての派遣・受入・支援の内容について決定していました。しかしながら、「コロナ禍」の中で、そういった従来の方法はかないませんでした。そこで、今回はリモートでの打ち合わせを重ねるとともに、基金会から送られてきた様々な資料を参考にしながら、協会としてもインターネット等で調べ、「新たな教育交流プロジェクト」実施地の決定を行わざるを得ませんでした。

### 2. 教育交流・受入事業

「新たな教育交流プロジェクト」の実施地が決定しましたが、交流の具体的な内容については、残念ながら協議できませんでした。「第6次宋慶齡基金会教育交流代表団」については、今までの教育交流受入事業の実績を踏まえ、より意味ある形で実施できるように検討していこうということになりました。中国においては、まだまだ地域格差の問題が教育にも大きく影響を及ぼしているようです。そうした中で、「日本に学びたい」という要望が非常に大きいと聞いています。民間教育交流の原点を踏まえて、河北省保定市阜平县における、「新たな教育交流プロジェクト」の5か年計画においても、教育交流団の受け入れについて計画していきたいと考えています。

### 3. 教育交流・支援事業

今後の取り組みの中で、「新たな教育交流プロジェクト」の実施地が決定し、交流の内容が具体化する中で、現地の教育局・学校側との話し合いを通じて、意味ある教育交流支援を行っていこうと考えて取り組みました。音楽教育実践への支援ということで、具体的な要望を踏まえて行いました。支援の規模としては、河北省保定市阜平县における、「新たな教育交流プロジェクト」においても、前回の5か年計画と同じように、宋慶齡基金会と協定書を結び、主に楽器の購入にあてるために100万円の支援を行いました。

### 4. 教育交流・研究等助成事業

① 「第9回教育交流ホームステイ」については、この間積極的に協力いただいているフジ国際語学院等とも協議を重ねましたが、新型コロナウイルス感染拡大にかかわる様々な影響（留学生が日本に来れない）で、「今年度も実施困難」という結論になりました。草の根教育交流として大きな意味を持っている取り組みなので、中止は非常に残念でしたが、しかたがありませんでした。

② 新たな事業として計画しましたが昨年度は実施できなかった、「田中一郎記念奨学基金」を利用した「留学生による日本語作文コンクール（仮称）」については、残念ながらこれも「コロナ禍」で進みませんでした。今年度も、ベトナム大使館へコンタクトを取る段階まで話が進んだのですが、それ以上具体化できませんでした。

- ③ 「第5回日中教育文化交流シンポジウム」については、「日本語作文コンクール」ともうまく関わりを持たせながら開催してきましたが、昨年度と同様に、作文コンクールの最優秀賞者が中国から来日できないとか、留学生も参加しての学習会が今まで通りに開催できるよう条件が整わずに中止することとなってしまいました。「大変意味のあるシンポジウムで今後の取り組みに大いに期待する」というようなご意見ご感想を多数いただいておりますし、今後は中国大使館からも参加していただこうと考えていた矢先だったので、大変残念でしたが、来年度こそは開催をと考えています。
- ④ 「第17回日本語作文コンクール」については、今年度も協会は積極的にこの事業を後援し、審査に加わり、日本中国国際教育交流協会賞（教育賞）2編を選出しています。今回の作文のテーマは、
- (1) 私はこう考える！ ポストコロナの日中交流、(2) 伝えたい！「新しい交流様式」実践レポート、(3) アイデア光る！ 私の先生の教え方、でした。テーマ別の応募本数は、(1) 1911本、(2) 676本、(3) 611本と、(1) が圧倒的に多くなりました。やはり日本語を勉強している中国人は、日中交流に高い関心があるようです。教育賞・日中国際教育交流協会賞（5万円相当）は、黄舒晨（浙江外国語学院）「私はこう考える！ポストコロナの日中交流」・朱雅蘭（上海大学）「桜便り」でした。

## 5. その他の活動

- ①今年度は通常の理事会を3回、評議員会を2回、監査を1回開催しました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染予防措置として、すべて書面議決となりました。そこで、理事会・評議員会合同という形でしたが、新型コロナウイルスの感染が比較的落ち着いていた時期に実施し、協会の活動について現状報告・意見交換を行い意思疎通を図りました。
- ②広報関係では、2022年3月に『会報28号』を発行しました。「共生力」は、コロナ禍で具体的な取り組みができなかったため発行しませんでした。
- ③財政確立に向けての賛助会員の取り組みは引き続き行い多くの協力を得ました。